

# 2018年12月期 第2四半期決算説明資料

「世の中にない」「真に役立つ」  
それが、私たちの研究開発の出発点です。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

# 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間(2018年1月～6月)における我が国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の増加や雇用・所得環境の着実な改善が続き、景気は緩やかな回復基調を示し推移しました。その一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等が懸念され、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような経営環境の中、当社グループでは『クリーン、ヘルス、セーフティ』各市場において掲げた重点施策への取り組みを進めましたが、マスク事業において期初より織り込み済みであった中国向け需要減及び納入時期変更による減収を主因として、売上高40億88百万円(前年同四半期比8.7%減)、営業利益2億63百万円(同39.2%減)、経常利益2億40百万円(同38.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億9百万円(同26.1%減)となりました。売上高は期初計画には到らなかったものの、利益については計画を若干上回る水準で推移しております。(期初計画 売上高42億円、営業利益2億50百万円、経常利益2億10百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2億円)

セグメント別の業績は以下の通りです。

## (マスク関連事業)

産業向けの防じんマスク、防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具及び医療向けの感染対策用マスクの販売は順調に推移しましたが、中国の大気汚染対策用マスクの需要減に加え、防衛省向け製品(防護マスク等)への予算割り当てが前年同期に比べ減少したことの影響を受け、当事業の売上高は35億84百万円(同9.6%減)となりました。

## (その他事業／環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」の販売が順調に推移した一方、「KOACH」以外の換気装置・機器等の販売が前年同期に比べ低調であったため、当事業の売上高は5億4百万円(同1.5%減)に留まりました。

「KOACH」は「アクチュアルクリーン(実際の作業時の清浄度)」を訴求する営業活動を代理店、販売店と協働して行った結果、物件情報総数は6月末時点で3,000件を超えました。また、「KOACH」専用のショールームを自主的に開設し、積極的な営業体制を取る代理店が現れるなど、営業力・販売力が着実に強化されています。当四半期累計期間の販売台数、販売件数はともに前年同期実績を上回り、売上は3割を超える増収となりました。

なお、使用環境拡大を目的に当四半期に市場投入した“ステンレス仕様”のテーブルコーチ、スタンドコーチは即受注につながるなど、売上増に寄与し始めています。

## 連結業績の概要

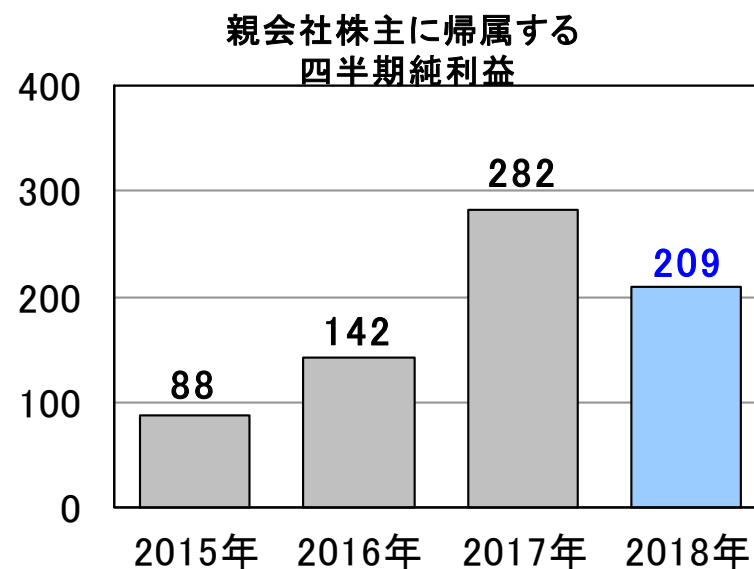
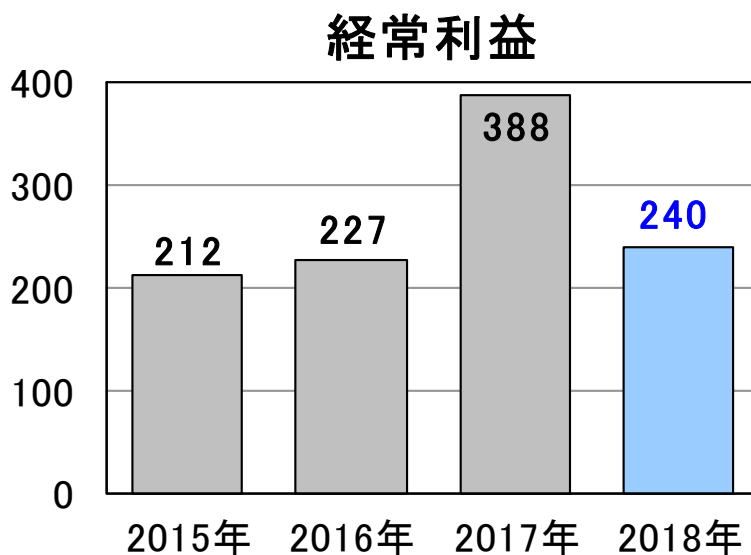
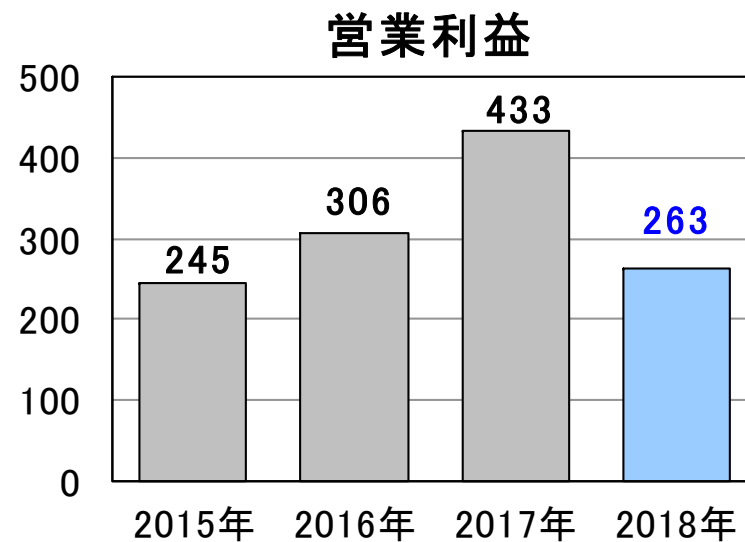
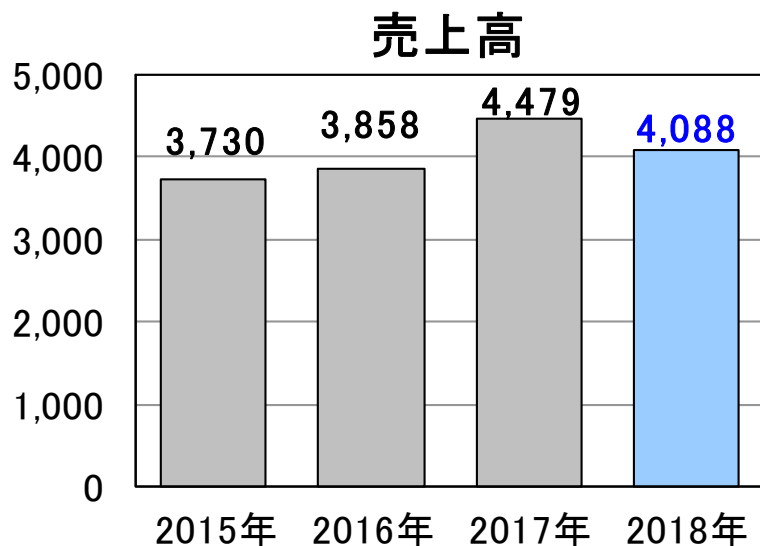
(単位:百万円/端数切り捨て)

	2017年12月期 第2四半期連結累計期間		2018年12月期 第2四半期連結累計期間	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
売上高	4,479	100.0	<b>4,088</b>	<b>100.0</b>
売上総利益	2,125	47.5	<b>1,916</b>	<b>46.9</b>
営業利益	433	9.7	<b>263</b>	<b>6.4</b>
経常利益	388	8.7	<b>240</b>	<b>5.9</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	282	6.3	<b>209</b>	<b>5.1</b>
1株当たり四半期純利益(円)	56.39	—	<b>41.68</b>	<b>—</b>

	2017年12月31日	2018年6月30日
総資産	17,354	<b>17,885</b>
負債	7,926	<b>8,453</b>
純資産	9,428	<b>9,432</b>
自己資本比率(%)	54.0	<b>52.7</b>
1株当たり純資産(円)	1867.80	<b>1880.61</b>

# 連結売上高・利益の推移（第2四半期）

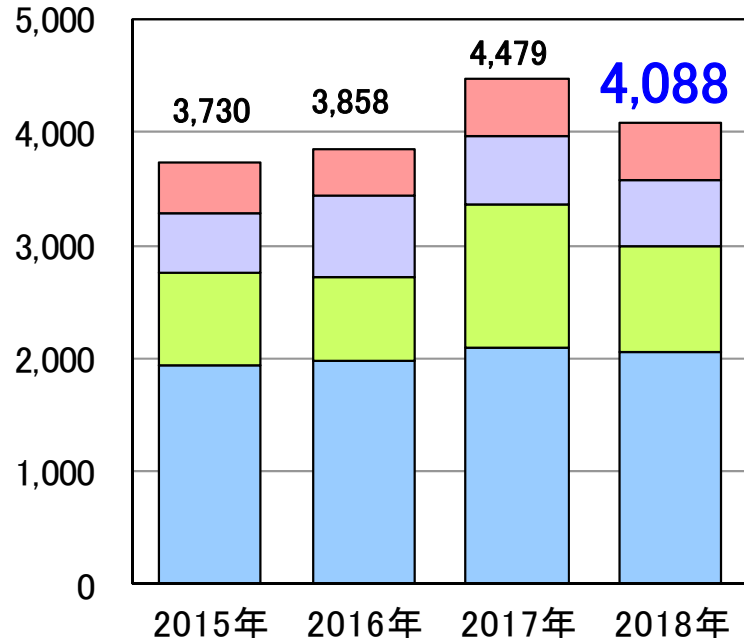
（単位：百万円／端数切り捨て）



# 連結セグメント別売上高の推移

(百万円)

(単位:百万円/端数切り捨て)



事業の状況	
<p>マスク関連事業 (■ 防じんマスク、■ 防毒マスク、■ マスク関連その他製品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防じんマスク: 産業向けが順調でした。捨て式マスク「ハイラック」シリーズは医療機関向けに販売が伸びましたが、中国の大気汚染対策用の需要が大幅減でした。</li> <li>・防毒マスク: 産業向けは順調でしたが、防衛省向けの防護マスクの予算割り当てが減少し、減収となりました。</li> <li>・その他製品: 電動ファン付き呼吸用保護具の販売は順調に推移しました。</li> </ul>	
<p>■ その他事業 (環境関連事業等を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンクリーンシステム「KOACH」: 販売件数、販売台数ともに前年を上回り、売上は3割を超える増収でした。</li> <li>・「KOACH」以外: いずれも前年同期に比べ低調でした。</li> </ul>	

品目区分	2015年 第2四半期		2016年 第2四半期		2017年 第2四半期		2018年 第2四半期	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
■ 防じんマスク	1,938	51.9%	1,974	51.2%	2,099	46.9%	2,058	50.4%
■ 防毒マスク	824	22.1%	752	19.5%	1,256	28.1%	925	22.6%
■ マスク関連その他製品	517	13.9%	714	18.5%	611	13.6%	600	14.7%
小計	3,280	87.9%	3,441	89.2%	3,967	88.6%	3,584	87.7%
■ その他	450	12.1%	416	10.8%	511	11.4%	504	12.3%
合計	3,730	100.0%	3,858	100.0%	4,479	100.0%	4,088	100.0%

※品目別売上高につきましては、子会社による販売がないため、親会社のみの数値を掲載しております。

## トピックス

### ◇福島県と災害時の物質調達に関する協定を締結

この度福島県と当社は、福島県で火山噴火、地震などの自然災害や鳥インフルエンザなどが発生した場合に必要なマスク供給に迅速に対応するため、県の要請に応じて防じんマスク・防毒マスクを提供する協定「災害時等における物資等の調達に関する協定書」を締結しました。

福島県では、東日本大震災の教訓を踏まえ、県民の方々の安全・安心を確保するため、自助、共助、公助を進める様々な取り組みを実施されています。その取り組みの一つが、民間事業者や団体と締結する「災害時応援協定」を通じて災害時における体制を充実させることです。本協定について福島県は、「災害時は初動が極めて重要であり、マスクの調達の体制が強化された。今後も関係機関と連携し災害に強い県づくりを進める」と評価されています。

当社は技術開発力・生産力の向上に努め、予期せぬ災害が発生した時のために、各地域の皆様の安全・安心のお役に立つ高品質なマスクの供給に努めることを、本協定で表明いたしました。



福島県庁で行われた締結式(2018年5月17日)

## ◇オープンクリーンシステム「KOACH」に新仕様が登場

オープン状態でも清浄空間を形成できる「KOACH」は、使い勝手の良さやISOクラス1でアクチュアルクリーンな空間を形成できることから、高潔度のクリーン環境を必要とする様々な製造現場や研究機関等で使われています。

持ち運びやすく卓上に設置できるテーブルタイプ及びキャスターで移動させることができるスタンドタイプのラインナップに“ステンレス仕様”と“防爆環境対応仕様”を加え、今までの「KOACH」では対応できていなかった作業環境でもご使用頂けるようになりました。

### <ステンレス仕様>

「KOACH」を導入したいが錆の発生しやすい現場のため腐食が心配といった声を数多く頂いておりました。

今回、テーブルコート「KOACH T 500-F-SUS」(写真)とスタンドコート「KOACH C 645-F-SUS」、「KOACH C 900-F-SUS」の3機種をラインナップを追加し、錆びが発生しやすい作業環境でもISOクラス1のスーパークリーン環境が構築できるようになりました。

筐体にステンレスを使用した本仕様品は、装置表面を水や消毒剤で拭き作業することが必要な食品や製薬などの分野でもお使い頂けます。

従来の性能はそのまま、使用できる環境が広がりました。



### <防爆環境対応仕様>

これまで揮発性ガスが発生する半導体や有機溶剤を使用する精密塗装などの防爆環境下においても「KOACH」導入希望が数多く寄せられていました。

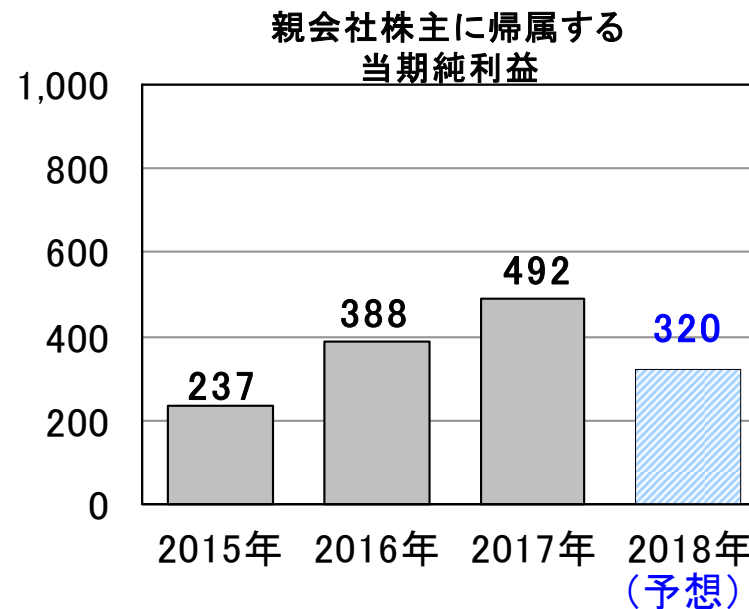
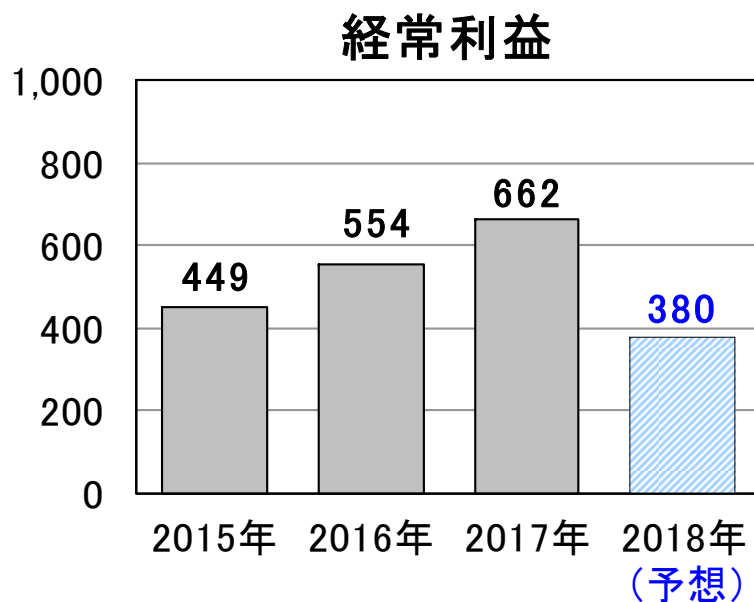
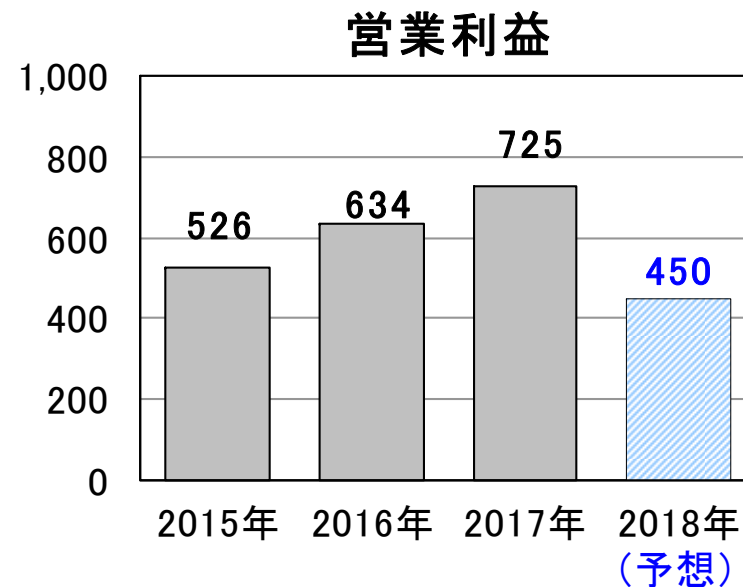
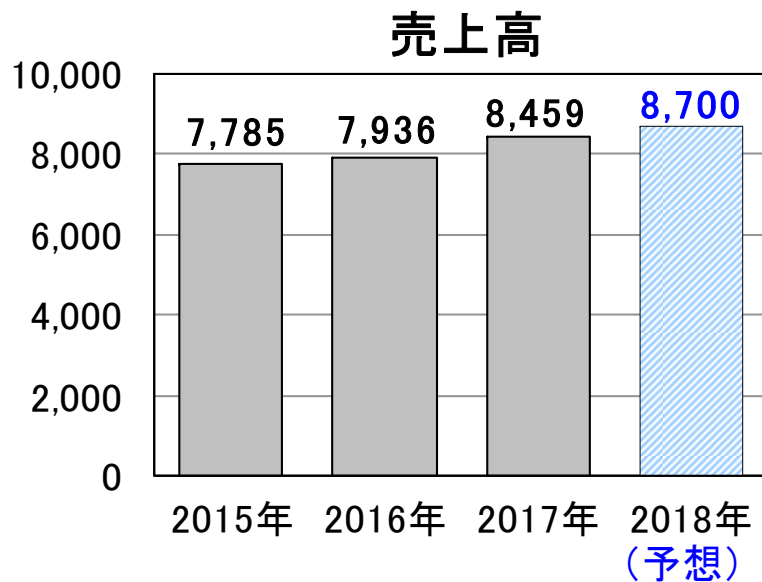
そこで当社は、ファン等の電気系統を防爆環境のエリア外に設置する構造にして、防爆対策を必要とする現場でもISOクラス1のスーパークリーンでアクチュアルな清浄空間を形成できるスタンドコート「KOACH C 900-F-D」(写真)、「KOACH C 645-F-D」とテーブルコート「KOACH T 500-F-D」の3機種をラインナップに加えました。

なお、清浄度形成時に必要な吹き出し風量は、風速制御システムを組むことにより、給気ファンを稼働するだけでクリーン空間の形成に必要な風量を自動で調整できます。



# 通期連結業績予想

(単位:百万円/端数切り捨て)



※2018年12月期の連結業績予想につきましては、2018年2月9日に公表いたしました予想からの変更はありません。



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、「2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」発表日(2018年8月3日)現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行うようお願いいたします。

## 本資料に関するお問い合わせ先

興研株式会社  
広報・IR室

TEL 03-5276-1932  
FAX 03-5276-6530  
Eメール [ir@koken-ltd.co.jp](mailto:ir@koken-ltd.co.jp)  
ホームページ <http://www.koken-ltd.co.jp/>